

# 一 般 質 問

令和6年第3回九戸村議会定例会

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
1 中 村 國 夫	1 伊保内高校の存続について	(1) 伊保内高校では、来年度の生徒募集に向けて取り組みを進めているが、県外から新規受け入れは2名が限界のため、新たに共同住宅が必要と考える。村の考えを伺う。	村 長
		(2) 伊保内高校存続に向けて、有識者による懇談会を設置し、取り組む考えはないのか伺う。	村 長
		(3) 岩手県教育委員会では、県立高校教育の在り方に関する地区懇談会を5月から10月にかけて県内6地区8会場で開催が予定されており、令和7年3月には長期ビジョンを決定し、公表するとしている。人口減少、少子化が進行する中で、本村の高校存続への影響が心配される。村長の伊保内高校存続に向けての今後の取り組みと決意を伺う。	村 長
	2 本村の一次産業の振興と若者の雇用確保について	(1) 村長は、本村の一次産業の振興を推進していくとしているが、どのような考え方で、どのように進められるのか伺う。	村 長
		(2) 本村の若者の雇用の確保について、どのような方策を考えているのか。また、具体的にどのように取り組みを推進していくのか伺う。	村 長
		(3) 地球の温暖化、気候変動により一段と高温化が進み、本村の農林業・畜産業・ブローラー産業の経営への影響が大変心配される。今年の本村の農林業・畜産業・ブローラー産業を主とする農家の収入見通しと今後の対応について伺う。	村 長

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2 保大木 信子</p>	1 村政運営について	<p>(1) 地域課題を解決していくために、村長は何から改革を進めていくのか伺う。</p> <p>(2) 村政運営にあたり職員のメンタルの充実は欠かせないが、村長は職員が明るく仕事をしやすい環境をつくるために、どんなことが必要と考えるのか伺う。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>
	2 学童保育について	<p>(1) 長期休みの学童保育での過ごし方について、朝から夕方まで教室にいることが子供たちに苦痛になっていないか、何かの対策を考えられないのかを伺う。</p>	<p>村長</p>
		<p>(2) 前回の質問において、保護者との懇談会を役場担当職員も加わり開催し、意見交換をすべきとの意見をのべさせていただきましたが実現されたか伺う。</p>	<p>村長</p>

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3 久保 えみ子</p>	<p>1 国が求めている農業地域計画について</p>	<p>(1) 農水省が日本のすべての農業集落の将来ビジョンとしての地域計画を作成するよう求めているが、九戸村ではどのような計画を掲げようとしているのか伺う。</p>	<p>村長</p>
		<p>(2) 村の基幹産業として農業を再生させ、農業を継いで欲しい、農業をやってよかったと言えるような農業政策にしていかなければならない。 地域計画がそのような計画になるのか、村長の見解を伺う。</p>	<p>村長</p>
	<p>2 子どもがお金の心配なく高等教育を受けることができる村政をすすめることについて</p>	<p>(1) 高校生以上の学生・生徒の学費負担を支援、また、返さなくてもよい給付型奨学金を創設して、村の子どもたちが、お金の心配なく教育を受けることができるように村政を進めていく必要があると考えるが、村長の見解を伺う。</p>	<p>村長</p>
		<p>(2) 現在、返済中の奨学金について、村が助成をして負担の軽減を図るべきと考える。村長の見解を伺う。</p>	<p>村長</p>
	<p>3 新型コロナウイルス感染症から村民の命と健康を守る対策について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルスは変異を繰り返し、感染力が強く、死者数も後遺症も多いことを踏まえ対策をしなければならぬ状況が続いているもとで、国は自己負担に変えてしまった。助成措置も支援強化も必要であり、村として基本的な感染防止対策の徹底を図ることや自己負担軽減の支援強化、後遺症対策など対応強化が求められている。 村として、現在どのように取り組んでいるのか、今後どのように取り組んでいくのか対策を伺う。</p>	<p>村長</p>